

# UCHIKOCHI

vol.57

UCHIDE no KODUCHI

特集

## 元気企業！紹介

- (有)吉正織物工場 P2
- 大津志賀地域振興観光(株) P4
- (株)京都工芸 P6
- YDF(株) P8

## プラザの事業紹介

- インフォメーション P10
- 産業・雇用創造推進プロジェクト P14
- 滋賀ものづくり経営改善センター P16
- 滋賀よろず支援拠点 P18
- トピックス P19



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

## 浜ちりめんの伝統に独自の感性で挑む。 キラリと光る、新ブランドを設立。

### 有限会社 吉正織物工場

よしだ かずお  
代表取締役 吉田 和生 さん

浜ちりめんは、約300年前に長浜に伝わり、彦根藩の保護のもと、高い技術と品質を保ちながら発展してきた。しかし生産量は昭和48年頃の年間180万反をピークに、現在では10万反以下まで落ち込み、織物業社も激減してしまった。一般の人の着物離れや景気の影響は大きいですが、浜ちりめんを好む着物ファンは多く、この伝統を途絶えさせてはならないと感じた吉正織物工場では、現代の生活様式に合わせながら、浜ちりめんの良さを活かした様々な製品を開発している。

### 世界最高級の生糸を使い 自社での一貫生産にこだわる

— 浜ちりめんについて教えてください

弊社では、世界最高級の生糸を仕入れ、糸を撚り、生地を織り上げるまでを一貫して行っています。ちりめんの特徴は、表面にある凹凸の「シボ」と呼ばれるものですが、この「シボ」の形や大きさを変えることにより、様々な味わいのある



▲製造に約2カ月かかる浜ちりめん。「糸繰り」「整経」「撚糸」「製織」「精練」「仕上げ」と、約38工程にも及ぶ。

生地ができます。ヨコ糸に強い撚りかけるのが浜ちりめんの特徴です。この撚りかける時に、生糸が切れないよう常に水で湿らせておく必要があります。この「水撚り」を支えたのが伊吹山の豊かな地下水です。また、織り上がった生地からセリシンという成分を除去し、光沢のあるちりめんにするのですが、これには琵琶湖の軟水が適していました。これらの条件が整っているからこそ、美しい浜ちりめんが生み出されるのです。

浜ちりめんは絹織物の中でも最高級の品とされ、京友禅や加賀友禅などの作家さんにも好んで使っていただいています。着物好きのお客さまは常に新しいものを求められるので、「シボ」の出し方を工夫して、新感触の生地の開発に試行錯誤しています。

中でも、15年ほど前に弊社が

開発した「さわやかちりめん」は、シャリ感のある風合いで通気性がよく、夏用の訪問着の生地として織り上げられた人気の逸品です。

— 和装以外の商品も開発されているそうですが？

昨今、日本人の着物離れは著しく、生産量が年々少なくなっているという現実があります。なんとか浜ちりめんの伝統を残していかなければという思いから、着物以外の商品開発に力を入れるようになりました。2004年に(株)ヤブウチと共同出資でウエディングドレスの製造販売を行う(株)騒人を設立しました。服飾デザイナーの野崎文子さんによる「BUN-wedding」や「SHI-BO wedding」を発表し、「絹の花嫁」というブランドを確立しました。2007年には地域資源活用事



#### DATA

### 有限会社 吉正織物工場

- 代表者／代表取締役 吉田 和生
- 従業員数／15名
- 住所／〒526-0014 滋賀県長浜市口分田町629番地
- 設立／1927年
- 業務内容／浜ちりめん製造
- TEL：0749-62-1790
- URL／<http://www.yoshimasa-orimono.jp>



業計画の滋賀県第1号に認定されました。その後、浜ちりめんが滋賀県の感性価値創造支援事業に選ばれ、生産者だけの価値ではなく市場のニーズに合わせたものづくりを目指そうと、たくさんの方にアドバイスをいただく機会がありました。

その中で、浜ちりめんでは子供服ができないかと声を掛けてくださった方がいたのです。シルクは天然繊維でたんぱく質の成分が人肌に近く、発汗・吸湿性が高いことから、子供服の素材としては最適です。しかし、家での洗濯が難しいという問題があり、それを解決するために2010年に同業者の南久ちりめん(株)と共にシルクライフジャパン(株)という会社を設立しました。何度も改良を重ねた結果、独自技術を確認し洗えるシルクの製品化に成功したのです。この素材には大手商社が興味を持ってくれ、具体的な商品開発が進んでいます。

### — 今後の目標は何ですか？

シルクライフジャパンでは「afumico(アフミコ)」というブランドネームでインテリア雑貨の制作を始めました。斬新でモダンな柄の浜ちりめんで作った、ファブリックパネルやランプシェード、小箱などの製品を販売しています。

昨年の5月、このafumicoの販売促進について「滋賀県よろず支援拠点」にアドバイスを求めたところ、近畿経済産業局が主催する「DISCOVER KANSAI(ディスカバー関西)」に応募してみてもどうかと提案されました。これは、フランスのパリにある「Maison Wa(メゾンワ)」というショールームで、展示・販売し、テストマーケティングするというものです。

シルクは世界中でたくさん生産されていますが、ちりめんのように「シボ」のパターンで光沢や肌触りに変化を持たせた織物は、他にはありません。この「シボ」の良さは実際に見て触っていただかないとわからないという思いもあり、応募することにしました。

すると、afumicoのちりめん小箱が審査を通過し、2015年の9月からパリで販売できるようになりました。国内でも京都の「LAQUE 四条烏丸」や東京の「ワテラスコモン」、長浜の「ギャラリー AMISU」などで販売が開始されました。afumicoをきっかけに浜ちりめんの良さを知っていただけるチャンスだと考えています。

「よろず支援拠点」で薦めていただいたおかげで、国内だけでなく海外での販売も視野に入るようになりました。今後は販売実績をあげ、浜ちりめんの伝統を守り続けていきたいと思っています。



▲浜ちりめんで作るウェディングドレス「絹の花嫁」。シルクを使ったウェディングドレスをオーダーメイドで製作販売いたします。  
<http://www.so-jin.co.jp/>



▲afumicoのちりめん小箱(上)とランプシェード(下)。高級な浜ちりめんに現代風のビビッドな配色と柄が、お洒落な女性を中心に人気に。  
<http://www.silklifejapan.com/afumico.html>

### 【よろず支援拠点】

経済産業省では、平成26年度から、各都道府県に1箇所ずつ、地域の支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営相談に対応する「よろず支援拠点」を整備しています。

滋賀県では、産業支援プラザ内に開設され、中小企業の経営や販路拡大などのサポートをしています。(よろず支援拠点の詳細はP18をご覧ください。)

### 問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ内 滋賀県よろず支援拠点

TEL: 077-511-1425 FAX: 077-511-1418

E-mail: [yorozu@shigaplaza.or.jp](mailto:yorozu@shigaplaza.or.jp) URL: <http://www.shigaplaza.or.jp/yorozu/>

## 志賀の新しい観光拠点 道の駅「妹子の郷」

### 大津志賀地域振興観光株式会社

代表取締役 しもお かすお 下尾 和男 さん

専務取締役 いのうえ よしお 井上 良夫 さん 駅長補佐 やまくち ゆうこ 山口 優子 さん

湖西道路の和迹インターチェンジ付近にある道の駅「妹子の郷」。2015年8月にオープンしたばかりの新しい道の駅ですが、A5ランクの最上級近江牛のみを提供するレストランが話題となり、集客に成功している。特産品販売コーナーでは地元の農作物やお土産品などを数多く揃え、他府県からの観光客に志賀の良さを紹介している。



井上良夫さん

下尾和男さん

山口優子さん

### 地域振興と雇用促進が目的 話題性のある場所づくり

——妹子の郷が出来るまでの経緯を教えてください

道の駅は国交省と大津市が設置し、志賀観光協会、大津北商工会、JAなどが出資している大津志賀地域振興観光株式会社が管理・運営しています。ドライバーが気軽に使えるコンビニやトイレ、休憩所

と、志賀の良さをアピールするためのレストラン、特産品販売コーナーがあります。「妹子の郷」の名称は公募で決まりました。それは、この周辺の「小野」という地名が、遣隋使として教科書にも載っている「小野妹子おののいもこ」の出身地であることから名付けられました。妹子の郷のシンボルマークの「水引」は小野妹子が隋から帰国する際、航海の無事を祈り結ばれていたものと言われています。この伝承をもとにデザ

インされたロゴには、ドライバーの安全を祈る思いがこめられています。

——レストランが話題になっているそうですね

道の駅は安全で快適に道路を利用するための施設ですが、地域振興や情報発信の役目も担っています。レストラン開設にあたっては、地域の雇用促進に繋がりたいという思いがあったため、まずは「券売



▲「本日の近江牛ステーキ」。極上の近江牛を堪能できるように、付け合わせの料理などを省いたシンプルなメニュー。



▲一番人気の近江牛重。お米はもちろん滋賀県産を使用している。上品な味付けで近江牛の旨味をひきたたせた、期待を裏切らないおいしさ。



▲落ちついた店内はゆったりと食事が楽しめる。壁に掛かった地元の作家が描いた大きな絵画や、窓の外に広がる緑が心を和ませてくれる。

#### DATA

#### 大津志賀地域振興観光株式会社

- 代表者／代表取締役 下尾 和男
- 従業員数／46名
- 住所／〒520-0526 滋賀県大津市和邇中 528
- 設立／2013年12月
- 業務内容／道の駅妹子の郷の管理、運営
- TEL：077-594-8131



▲妹子の郷／ロゴマーク



機を設置しないでスタッフが注文を受ける」ということを決めました。ここが志賀の観光の入り口になるように、レストランのスタッフがお客さまをおもてなしするような場所にしたいのです。

メニュー開発にあたっては、産業支援プラザの専門家派遣事業を利用しました。メニュー開発の専門家と、地元の食材を使ったカレーや鮎の出汁うどんなどを試作することからはじめたのですが、他の道の駅と差別化するために、何かもっと強い独自のコンセプトが必要なのではないかと悩んでいました。その思いを専門家に話したところ、的確なアドバイスをもらうことができ、思い切ってメニューは「近江牛」だけに絞ることにしたのです。

さらに県内外の流行っているお店を食べ歩き、研究を重ねて確信したのは、素材の良さが料理の美味しさに直結するということでした。そこで A5 ランクの近江牛を一頭買いし、できるだけシンプルな調理で肉本来の美味しさを存分に味わってもらえる、今のスタイルにたどり着いたのです。もちろん、肉以外の食材も地元産のものを、ハンバーグなどもすべてレストランの厨房で手作りしています。

成功する飲食店は「料理の味」「立地」「店の雰囲気」「接客」が総合して高いそうです。妹子の郷は比良山を望む風光明媚な場所で

立地は文句なく良いですし、店内のインテリアもゆったりとくつろげる空間づくりにこだわりました。あとは接客のクオリティーですが、これも専門家派遣を利用し、指導に来ていただきました。オープン前にスタッフを募集したところ、考えていた以上にたくさんの方の応募があり、現在、レストランには 50 名以上のスタッフが在籍しています。福利厚生などを整え、スタッフがやりがいを持っていきいきと働ける職場にしたいと考えています。それが、お店の雰囲気良くし、ひいてはお客さまとのいい関係づくりに繋がると思っています。

### 生産者と消費者の架け橋に

— 今後、どのような施設にしていきたいですか？

特産品販売コーナーでは、特に生産者の方たちと話す時間を大切にしています。お客さまからいただいた意見をフィードバックしたり、お客さまに商品の美味しい食べ方を提案するための相談をしたり、共に成長していきたいと思っています。この辺りはこだわりのある生産者が多く、野菜などの農産物はもちろん、地元の食材を活かした和菓子やジャムなどの加工品、猟師がしとめた鹿肉や猪肉の燻製など、多数販売しています。

イベントも手探りですがコンスタントに開催できればと思っています。去年は秋におにぎりを振る舞って、新米の販売イベントを行いました。クリスマス時期にはモミの樹を用意し、サンタの格好をしたスタッフがオーナメントを配って、家族連れのお客さまに楽しんでいただけました。

志賀は琵琶湖と比良山系の豊かな自然に恵まれたすばらしい地域です。トレッキングや夏のウォーターレジャー、冬のウィンタースポーツなど、1 年中楽しむことができます。妹子の郷から、さらに情報を発信し、志賀地域の魅力を県内外に紹介するアンテナショップのような存在になることを目指しています。



▲天井が高く開放感のある店内。滋賀羽二重餅などの和菓子や酒粕などの加工食品もお土産として人気がある。



▲地元農家の新鮮野菜や、近江牛などの農産品・畜産品が豊富に取り揃えられている。

#### 【専門家派遣事業】

中小企業が抱えている経営・技術等の諸問題に対して、経営、販売、労務、技術、特許などの幅広い分野の民間専門家（約 400 人登録）が現場に出向き、アドバイスします。最大 10 回にわたっての派遣が可能です。

1 回あたりの費用負担（3 分の 2 をプラザが負担）

相談時間の目安	総 額	うち、相談依頼人のご負担金額
2 時間程度	27,000 円	9,000 円
4 時間程度	36,000 円	12,000 円

#### 問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営・国際ビジネス支援グループ

TEL : 077-511-1413 FAX : 077-511-1418

E-mail : keiei@shigaplaza.or.jp URL : <http://www.shigaplaza.or.jp/senmon/>

## タオル専門のネットショップで話題の「タオルはまかせたろ.com」

### 株式会社京都工芸

代表取締役 <sup>てらだ げん</sup> 寺田 元 さん

株式会社京都工芸は、先代社長が京都の四条烏丸で始めたギフトショップが原点。全国の郵便局にノベルティを販売する事業で安定した利益をあげていた。京都の店舗を立ち退かざるを得ない事情があり、大津市に転入。その後、2001年の郵政民営化の波を受け、受注が激減したこともあり、インターネットショップの開設に踏み切った。「タオルなんて粗品でもらうもの。インターネットで売れる訳がない」という周囲の反対にも負けず、アイデアと行動力で年商1億円を超えるショップに成長させた。



### タオルは売らない ストーリーを売っている

—なぜ、タオル専門なのですか？

もともとギフトショップとして、様々な商材を扱っていました。インターネットショップを開こうと思って参加した「eビジネス道場」で、「商材を絞れ」と言われ、何がいかと



▲タオルギャラリーには、各メーカーの白いタオルが並んでいる。色や柄を無くすことで、素材感が引き立つため、タオル本来の良さを比較しやすい。洗濯回数が多いファミリー向けには「メールリッチパイル」、髪の長い女性には「ワッフルガーゼ」と、その人にあったタオルをソムリエが選んでくれる。

考えていた時、たまたまショッピングモールでバスタオルを沢山購入しているオシャレな女性を見かけたのがきっかけでした。その頃、私には「タオルは粗品でもらうもの、自分で買う物ではない」という凝り固まった考えがあったので、タオルを購入する人がいるというのは衝撃的でした。しかし、ギフトショップでも粗品のタオルは常に人気があることを思い出し「タオルにしよう」と直感的に決めたのです。

—ネットショップの売り上げが好調だそうです

もちろん最初から上手くいった訳ではありません。ネットショップを開設した当初はほとんど売り上げのない時期が続きました。そんな時「私に似合うタオルは何ですか？」

というお問い合わせメールをいただいたのです。当時のサイトは、カタログのように沢山の種類のタオルを掲載していましたが、このお客様にどのタオルをおススメすればいいのかわからなかったのです。その時に、私はタオルを売っているのに、タオルに関する知識が全くないことに気づいたのです。とにかく、このお客様に似合うタオルを選んで差し上げなければという思いで、翌日には今治にある知人のタオル工場を訪ねることにしました。

タオル工場へ行くと、丁寧にタオルができる行程を説明していただきました。タオルは「生地を織る」「縫製する」「プリントする」など、各工程を別々の工場で行っており、それぞれの担当者は、どんなタオルが出来て、どのように売られているかということを知らないと

#### DATA

#### 株式会社京都工芸

- 代表者／代表取締役 寺田 元
- 従業員数／7名
- 住所／〒520-0106 滋賀県大津市唐崎 1-26-8
- 設立／1971年（2006年法人化）
- 業務内容／タオル通販・卸・小売業 オリジナルタオル・刺繍加工タオル販売
- TEL：077-579-6662



聞かされました。しかも海外製の安いタオルに押され、日本のタオル業界は斜陽の一途を辿っていることを知り、なんとかしなければという使命感のようなものが生まれて来たのです。

「eビジネス道場」では「勇気を持って情報発信しよう」と教わりました。そこでサイトにタオルの生産工程を説明する写真や動画をアップし始めました。その過程で何度も今治に通い、沢山の工場を回って、自分もタオルに関する知識を深めていきました。

すると、そういった説明ページを見に来る人が増えはじめました。さらに生産現場のおじちゃんやおばちゃんからも、私のサイトを見て、タオルが出来る行程がわかったと喜びの声をいただいたのです。

ネットで商品を売るためには「新規性」「話題性」「社会性」が必要です。「生産者の顔を出す」という新規性が話題となり、生産者と消費者を繋ぐ社会性が、自然と売り上げに繋がっていったのだと思います。そして、私自身も「タオルソムリエ」の資格を取り、タキシード姿でお盆にタオルを乗せた姿をサイトのアイコンとして使用するようになりました。これも話題となり、沢山のマスメディアで紹介していただきました。

— ITハンドラー賞を受賞されま

したね

2014年に「滋賀県先進的ITハンドラー大賞」で優秀賞をいただきました。これはIT活用の面で優れた取り組みを行っている中小企業を対象にした賞です。「タオルはまかせたろ.com」はちょうど10年目を迎え、今までやってきたことを再確認する意味で応募させていただきました。賞をいただいたことで、セミナーの講師をする機会も得られました。私の経験がこれからITを活用していこうとしている方々の役に立てるのであれば、どんどん色々な場所に出ていこうと思っています。

私は「動感動喜」という言葉をよく使います。これは私が作った造語ですが、「行動の中に感動がある。行動の中に喜びがある」という意味です。何の知識もなく、今治のタオル工場へ行ったからこそ、産地の人との繋がりができました。写真や動画をアップすることで、お客様と生産者を繋ぐことができました。行動こそが私の原点だと思っています。

— 今後の目標は何ですか？

「オーダータオルもまかせたろ」(<http://towel-pro.jp>)という法人向けのタオル販売サイトを新しく立ち上げました。約70社のタ

ルメーカーとのネットワークを活かし、用途、予算、デザインのご要望をお聞きし、最適なタオルをお作りするサービスです。スポーツ大会の記念品やイベントのノベルティなど、なんでもご相談ください。

小売り業は安心を与えるのが仕事だと思っています。お客さまには最適な商品をお届けし、工場には安定した生産を約束することが使命だと考えています。どんな人がどんな場面でタオルを使うのか、現場はどんな思いでタオルを作っているのか、それぞれの人が持つストーリーと喜びを、届け続けたいと思います。



▲京都工芸のオリジナル商品「vs我」。書家の武田双雲が書いた文字入りで、受験やスポーツなど、自分と戦うためのタオル。



▲「日の丸タオル」。2010年、滋賀出身の議員のタウンミーティングでこのタオルに込めた思いをスピーチしたところ、その年のFIFAワールドカップに出場する選手に「日の丸タオル」を届けてもらうことができた。サポーターからの注文が殺到し、会場が日の丸タオルで一体となった。

### 【情報化支援事業】

中小企業等の情報化推進による経営力や競争力の強化を図るため、個々の経営課題に応じて、IT専門家の派遣（28年度からは専門家派遣事業で実施）や各種セミナーを開催し、情報環境基盤の整備強化を促進します。また、26年度には「滋賀県先進的ITハンドラー大賞」にて、IT活用面で優れた取り組みを行っているユーザー、ベンダーを発掘、顕彰し、その活用方法などを広報しました。

問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 情報支援グループ

TEL : 077-511-1411 FAX : 077-511-1418 E-mail : [jouhou@shigaplaza.or.jp](mailto:jouhou@shigaplaza.or.jp)

## モルタル造形とエイジング加工で オンリーワンの空間をプロデュースする

### YDF 株式会社

代表取締役 やまもと たかあき 山本 貴諭 さん

比良駅から徒歩 10 分ほどの国道沿いにある、アンティークな建物が目を引く YDF 株式会社。モルタル造形とエイジング塗装を駆使して石積みや古びた木、錆びた釘まで、長い年月を経たような趣のある空間を作っている。元々はテーマパークなどで使われていた技術で、一般の建築物に活用している事業者は国内では少ないため、全国からオーダーが入る。店舗デザインが主流だが、一般住宅にも取り入れられるように、エイジング塗装した照明器具やドアなども販売している。



### 塗装職人だからできる 工期管理と企画提案

— 現在のスタイルにたどり着いた経緯を教えてください

16 歳で塗装会社に就職しました。その会社には 15 年程勤めたのですが、そこで塗装に関する技術や知識、営業の方法などを学び、28 歳で独立しました。ただきれいに壁を塗るだけでは、大手企業には値段やスピードの面で太刀打ちできないと思っていたので、デザイン性のある塗装に特化しようと思っていました。ちょうどその頃に「エイジング塗装」に出会ったのです。日本ではテーマパークでよく見かけますが、塗装でわざと古い雰囲気を出す手法です。そのような施工をしているのは国内では数社しかなく、やり

方を学びたいと思っても教えてくれるようなところはありませんでした。

そこで、アメリカのロサンゼルスに行き、とにかく本場の作品を見て回り、モルタルに彫刻していることがわかりました。色んな道具をアメリカから取り寄せて、試行錯誤をしていくうちに、モルタル造形の面白さにのめりこむようになっていきました。最初は、無料で塗装させてもらったりしているうちに、技術が確立されていき、今のスタイルに辿り

着いたのです。

モルタル造形はモルタルと塗装を組み合わせることで自由自在な表現が可能です。中世ヨーロッパの古城や、アンコールワットのような遺跡など、ありとあらゆる雰囲気空間を作りだすことができます。しかも施工場所を選ばず、消防法令にも対応でき、比較的ローコストで実現できます。さらに、モルタルは下地を選ばないので、リフォームの場合は、壁紙や板を剥



▲大阪にあるペットショップ。左が施行中で右が完成写真。ケージの中の犬をガジュマルの木の根の間からのぞく、遊び心をくすぐるデザイン。

### DATA

#### YDF 株式会社 / トランクファクトリー

- 代表者 / 代表取締役 山本 貴諭
- 住所 / 〒 520-0503 滋賀県大津市北比良 474
- 設立 / 2008 年 (2014 年法人化)
- 業務内容 / 一般住宅リフォーム・店舗デザインリフォーム改装全般  
モルタル造形・エイジング塗装・デコラティブペイント  
デザイン塗装・グラフィック塗装
- TEL : 077-594-1318





がしたりする必要がなく、廃材が出ないというのも利点です。

—どのような施工例がありますか？

店舗デザインが多いです。大阪のペットショップの内装や東京のジーンズショップのファサードは評判がよく、テレビや雑誌にとりあげていただきました。平均して月に2～3件のぐらいの依頼があります。

大阪のペットショップは、ガジュマルの木の根の中に犬のケージを埋め込んだ、テーマパークのようなデザインです。施工前の打ち合わせでは、簡単なイメージ図と写真などを使い施主様のイメージを引き出していきます。頭の中に出来上がった映像が一番鮮明なので、完成予想図や設計図はあえて描かないようにしています。紙に描いてしまうと、それにとらわれてしまうので、頭の中のイメージが形になるまで妥協しません。塗装業の経験があるからこそ、工期や費用のことも考えながら作っていきます。自分の作品を作るのではなく、お



▲アトリエの改裝作業。もともとある壁やカウンターにモルタルでレンガや木材の形を作っていく。モルタルと塗装を組み合わせれば、表現できないものはほとんどない。自由な発想力で、オンリーワンの空間になる。

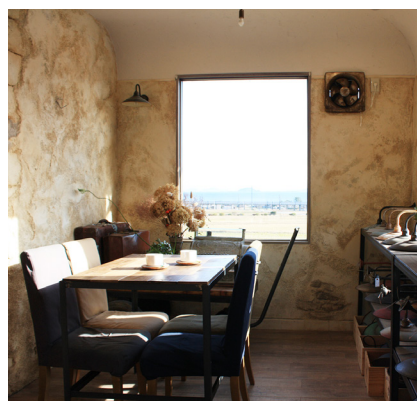
客さまのイメージを形にしていくことが大切だと思っています。

—新しくアトリエショップをオープンさせたそうですね

古い喫茶店をモルタル造形で改装して、お客様と打ち合わせをするためのアトリエをオープンしました。このアトリエはフランスのエズという地方の建築をイメージしてデザインしています。近所でも「ハリーポッターの家みたい」と噂になっているようで、アトリエを持つことで当社の技術力をアピールできているのではと思っています。

現在、建築用の発泡スチロール（EPS 素材）とモルタルとを組み合わせる外塀を作る工法を開発しています。今までにない新しい工法なので、これを確立し、家庭用のガーデンハウスなどを提案していければと思っています。まずは、アトリエの庭にガーデンハウスを建てて、たくさんの方に見ていただければと思っています。

このオープンに際して、産業支援プラザの創業補助金を利用させて



▲フランスのエズをイメージしたアトリエの内装。今年の春には、同じテイストの8階建てのマンションが大阪に竣工する予定。

いただきました。補助金のおかげで、アトリエを持つという新しいことにチャレンジできましたし、これからのステップアップのきっかけになると思います。また、補助金の申請と法人化の時期が重なったこともあり、会社に必要な書類や納品書、発注書の管理の方法なども丁寧に教えていただき、ありがたく思っています。

—今後の目標は何ですか？

若い職人を育てることです。この技術を多くの方に知ってもらうためには、熱意ある後継者を指導、育成することが私の使命だと考えています。



▲新品のランプシェード（左）にエイジング塗装を施したもの（右）。近くで見ても、塗装だとは思えない仕上がり。インターネットで購入可能 <http://www.rakuten.co.jp/yamamotososou/>



▲建築用発泡スチロールとモルタルで作られた外塀。発泡スチロールは加工しやすいため、複雑なデザインが可能。

## 問い合わせ先

(公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援グループ

TEL : 077-511-1412 FAX : 077-511-1418 E-mail : in@shigaplaza.or.jp



## いきいき滋賀モノづくりセミナー in 近江八幡

参加無料

中小企業事業者を対象にモノづくり企業がビジネスパートナーやビジネスチャンスを見つけるきっかけづくりのセミナーおよび参加者の交流会を開催いたします。ぜひご参加ください！

- 日時：2016年 2月22日（月） 14：00～17：30（13：30 受付開始）
- 場所：ホテルニューオウミ（近江八幡市鷹飼町1481）
- 対象：滋賀県内のモノづくり中小企業 50社程度

### 【第1部】企業講演

#### 『二代目の挑戦！』今どのように手を打つべきか ～事業の転換と理念経営～

3Kと言われる小さなメッキ会社が、全国750社以上の企業から加工依頼がくるまでに成長した裏側には、様々なターニングポイントがあった。どん底を経験し事業転換・事業継承・社内改革を行っている様子を実例をもとにお話しいただきます。



ひらいますこ  
講師 **平井 益子氏**  
株式会社 コダマ 代表取締役

### 【第2部】マッチング交流会

#### 参加者同士の交流会

名刺交換・情報交換を通じて、同業種・異業種の企業とのヨコのネットワークを作るチャンスです！講師も参加予定です。是非積極的にご参加いただき、ビジネスパートナー・ビジネスチャンスを見つけてください！

**お問合せ先** (公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営・国際ビジネス支援グループ 担当/植村・中嶋

TEL：077-511-1413（直） FAX：077-511-1418 E-mail：keiei@shigaplaza.or.jp

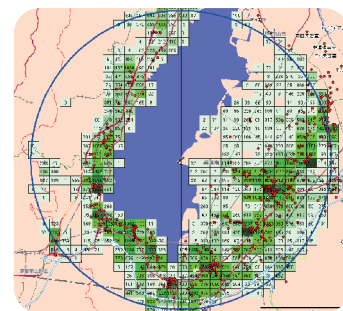
## 出張相談会 in 近江八幡

新たにビジネスをお考えの方、企業経営でお悩みの方、まずはご相談にお越しください。

- 日時：2016年 2月22日（月） 12：00～17：00
- 場所：ホテルニューオウミ（近江八幡市鷹飼町1481）
- 募集対象：滋賀県内に事業所を有する中小企業
- 概要：相談内容に応じ、プラザの相談員が対応させていただきます。

### ※商圏分析コーナー紹介

当日、あなたのお店の「商圏マップ」を作成いたします。



### 相談メニュー

- ① 販路開拓相談 → 売れる仕組み作りからの販路開拓・販路拡大支援
- ② 経営改善相談 → 経営改善計画、ビジネスプラン、中期経営計画策定支援
- ③ 資金調達相談 → 資金繰り相談、開業資金事前相談
- ④ 国際ビジネス相談 → 海外進出相談、貿易相談全般
- ⑤ 取引あっせん相談 → 受発注（製造委託・修理委託）に関する相談及び受発注企業情報の紹介
- ⑥ 下請かけこみ寺 → 企業間取引に関する様々な悩みの相談、アドバイス
- ⑦ 新事業応援ファンド → 地域資源を活用した新商品・新サービス開発に対する助成金
- ⑧ マーケティング分析 → 商圏分析システムで、貴店の商圏の分析をします
- ⑨ その他の相談 → 創業相談、経営革新計画、知的財産相談、各種補助金相談、IT活用相談等

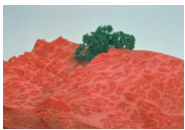
**お問合せ先** (公財) 滋賀県産業支援プラザ 経営・国際ビジネス支援グループ 担当/北川・堀池

TEL：077-511-1413（直） FAX：077-511-1418 E-mail：keiei@shigaplaza.or.jp

# しが新事業応援ファンド助成金とは？

滋賀県の地域資源の活用と地域経済の活性化を目指し、助成金交付事業を実施しています。  
 新商品・新サービスの開発にぜひ、ご活用ください！

## 滋賀県の特徴ある 地域資源を 活用して



▶近江牛



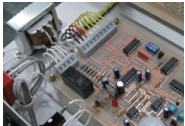
▶ピワマス



▶信楽焼



▶金属製品



▶電子機器



▶彦根城

## 新たな商品・ サービスの研究 や開発試作 に取り組む



事業者等に対し、  
**最大  
300万円／年**  
を助成します。



更に、上記開発事業を  
終了した事業者に限定  
して、販路開拓に取り  
組む場合

上限

**200万円**

を助成します。

## 対象となる事業とは

### 1 新商品・新サービスの開発事業 (期間中は売れない)

- ① 調査研究など企画検討（マーケティング）
- ② 試作開発など（開発そのもの）

### 2 新商品・新サービスの販路開拓事業 (期間中に売れる)

※販路開拓は上記 1 の開発事業を終了した事業者が  
対象です。

※開発と販路開拓を同一年度で行うことも可能。

対象者	1年目	2年目	3年目
ファンド 終了者	販路開拓		
ファンド 申請者 A	商品 開発	販路 開拓	
ファンド 申請者 B	商品開発	販路開拓	
ファンド 申請者 C	商品開発	商品開発	販路開拓

### 3 上記対象事業に取り組む事業者の支援事業 知事が認める支援機関が取り組む支援事業が対象です。

※しが新事業応援ファンド助成金は平成30年度で終了予定です。

#### ● 募集期間

第1回：平成28年1月4日(月)～平成28年1月22日(金) 15時まで

第2回：平成28年7月1日(金)～平成28年7月22日(金) 15時まで

しが新事業応援ファンド助成金に  
ついての募集期間、お問い合わせ、  
ご相談はお気軽に担当者までご連絡  
ください。

**お問合せ先** (公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援グループ 担当/長谷川・湯浅・徳久

TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418 E-mail: in@shigaplaza.or.jp



## IT活用セミナー その分野の一流講師による講義と演習

企業の情報化を応援する IT 活用セミナーでは、各専門分野で活躍する一流の講師を招き、講義・演習を行っています。その熱弁は、様々な刺激を与え、IT 化のヒントとモチベーション向上に繋がっています。

### 開催決定! サービス業の IT 活用法

飲食業や小売業、サービス業、理美容業、宿泊業、健康・福祉関連業、情報関連業など、これからの人口減少の中で活路を見出す必要のある地域性の高い中小サービス業を対象に、県内中小サービス業が実践できる内容を解説します。



すぎうらつかさ  
杉浦 司氏

杉浦システムコンサルティング Inc

第 1 回 平成 28 年 2 月 2 日(火)

#### 千客万来 (お客さまにきてもらうためのしかけ) ～顧客を集めるための IT マーケティング～

サービス業の現状/需要拡大と生産性向上が成功の鍵  
サービス業の動向/差別化するサービスと標準化するサービス  
サービス業の課題/ベルソナと共創マーケティングによる革新  
サービス業の IT 活用/裏方改善、接客サポート、おもてなし強化  
サービス業の革新実践/現場と融合する IT、顧客と共創する商品

第 2 回 平成 28 年 2 月 23 日(火)

#### 一客百来 (ファンになってもらうためのしかけ) ～リピーターを増やすための IT マーケティング～

サービス業の現状/工夫しないと売れない、売れても儲からない  
サービス業の動向/身の丈にあった IT 化ときめ細かなデータ分析  
サービス業の課題/平均像ではなく顧客タイプごとの価値提案へ  
サービス業の IT 活用/顧客関係を維持強化するための CRM  
サービス業の革新実践/ソーシャルメディアによるファンづくり

- 日時：第 1 回 平成 28 年 2 月 2 日(火)  
第 2 回 平成 28 年 2 月 23 日(火)  
各 14:00 ~ 16:30 (開場 13:30)
- 会場：コラボしが 21 3 階 中会議室
- 対象：滋賀県内の中小企業者  
(主として、飲食業、小売業、サービス業、理美容業、宿泊業、  
健康・福祉関連事業、情報関連等の事業者等)
- 定員：20 名程度
- 参加費：無料

#### 過去の出席者の感想

- 他セミナーより、一歩踏み込んだ内容で大変満足です。
- 非常に分かりやすいセミナーでした。素敵なきっかけありがとうございました。
- 知らない情報がたくさんあり、大変参考になりました。
- 今後の販売(海外)戦略のヒントになりました。
- トレンドの確認も出来ました。
- 幅広くバランス良く、分かりやすく概観することが出来ました。
- 今後の情報システムの動きに対して理解ができて良い勉強をさせて頂きました。

## IT 専門家派遣 セミナー受講と合わせて専門家の支援を受ける

IT 活用セミナーでは質疑応答の時間を設けて御質問にお応えしておりますが、難解な悩みのご相談には、専門的な知識や経験を持つ専門家を派遣し、課題に応じた診断・助言を行います。IT に関するお悩みのある方は、この機会にぜひご利用ください。(平成 28 年度からは、専門家派遣事業でご利用できます)

お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 情報支援グループ 担当/瀬村・田代

TEL: 077-511-1411 FAX: 077-511-1418 E-mail: jouhou@shigaplaza.or.jp

## しが医工連携ものづくりネットワーク

2月24日～26日に共同出展

### メディカルジャパン2016 大阪 第6回 関西医療機器開発・製造展(MEDIX 関西)

2月に開催される関西 医療機器 開発・製造展に『しが医工連携ものづくりネットワーク※』として会員企業6社が共同出展を行います。当展示会は、全国規模で医療機器を開発・製造するための技術を集めた関西最大の専門展で、パートナー企業の探索や製販企業等との連携強化をしておりますので、是非、ニーズ・シーズの出会いの場にご来場ください。

#### 展示会概要

【会 期】 2016年2月24日(水)～26日(金)  
 【会 場】 インテックス大阪  
 大阪市住之江区南港北 1-5-102  
 【出展ブース】 6号館Bゾーン 31-19  
 【公式HP】 <http://www.medix-kansai.jp/>

#### 出展企業

企業名	主な出展内容
ニッタモールド(株)	微細加工品、カテーテル、LSR成型の紹介
(株)イマック	歩行分析計 ステップエイド
山科精器(株)	トレーシーラー、バレル研磨機
日光精器(株)	くるくる体温計、のどミスト、ハナオート
近畿精工(株)	検査チップ用金型、マイクロニードル用金型
新生化学工業(株)	薄肉チューブ射出成形、発泡印字

#### 「しが医工連携ものづくりネットワーク」とは..

医療分野への進出に意欲的な企業、既に医療分野でのビジネスを展開中の企業、大学・試験研究機関、金融機関、行政・支援機関等により構成されているネットワークです。  
 県下に医療機器産業の集積の形成を目指して、産官学金出会の場、情報交換の場、およびニーズ・シーズマッチングの場を提供しています。

**お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 連携推進グループ** 担当/中島・梅村

TEL: 077-511-1414 FAX: 077-511-1418 E-mail: iko@shigaplaza.or.jp

## しが新産業創造ネットワーク 平成27年度 第2回 マッチングフォーラム

(公財) 滋賀県産業支援プラザおよび滋賀県では、“モノづくり基盤技術” および“環境” の分野における研究開発や新事業創出に意欲的な企業および大学、研究機関等で構成する『しが新産業創造ネットワーク』を組織し、その事業化に向けた取り組みを進めています。



たけはらのぶお  
竹原 信夫 氏

- 日 時：平成28年2月8日(月) 14:15～17:00  
(交流会 17:15～)
- 会 場：コラボしが21 3階会議室(滋賀県大津市打出浜2-1)
- 対 象：県内企業経営者・技術開発者等、  
大学・公設試験等研究開発機関、産業支援機関関係者等
- 参加費：無料(交流会にご参加の方は会費1,000円が必要です)  
※いずれも事前申込必要
- 主 催：(公財) 滋賀県産業支援プラザ、滋賀県

※滋賀県産業支援プラザのホームページ  
[産学官・技術開発メニュー](#)よりお申し込みください。

#### Program

14:15～14:20	開会あいさつ
14:20～15:20 (60分)	講 演 「ものづくり元気企業のひみつ」 日本一明るい経済新聞 編集長 竹原 信夫 氏
15:30～17:00 (90分)	企業プレゼンテーション ※自社の技術、シーズ・マッチング希望、 外部資金活用事例等を発表します。
17:15～	交流会

**お申し込み・お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ 連携推進グループ** 担当/福井・中村

TEL: 077-511-1414 FAX: 077-511-1418 E-mail: shin@shigaplaza.or.jp

# 企業の皆さまの新事業展開や

産業・雇用創造推進センターでは、滋賀県が実施する「滋賀発の産業・雇用創造推進プロジェクト」のうちの次の3つの事業を受託し、県内の「高度モノづくり・環境」分野と、「食料品」分野の製造業（業種指定があります）に重点を置き、人材確保や新製品の開発・新規事業展開の取り組みの支援を行っています。センター職員が全力で支援させていただきますので、こんなことに使えないかといったことがありましたら、ぜひともご相談ください。



清水 正博  
産業・雇用創造推進センター長

## 3つの事業を受託

平成29年度まで実施

### 1 高度専門人材確保支援事業 （企業提案型人材力確保事業）

新規事業展開や販路拡大のための、高度な技術・知識・経験等を有する人材の雇用に要する経費を支援します。（上限額：200万円/人）  
27年度は、5事業所で活用いただいています。



▲滋賀のモノづくり企業合同就職面接会

### 2 新規事業展開トライアル支援事業 （企業提案型人材力確保事業）

新規事業展開等に向けた試作開発や販路拡大に係る経費の一部を支援します。  
（上限額：50万円/件）  
27年度は、2事業所で活用いただいています。

高度専門人材確保支援事業と新規事業展開トライアル支援事業については、毎年度、事業所さまから事業の提案の募集を行い、事業の採択を行います。

### 3 滋賀のモノづくり企業合同就職面接会の開催 （産業別就職支援事業）

中小企業等の事業所と若年求職者とのマッチングを支援します。  
27年度は、2会場で49事業所にご参加いただきました。

合同就職面接会は、毎年度、県下2か所で開催します。

※詳しくは、[産業支援プラザホームページ](#)のプロジェクトの情報をご覧ください。

# 販路拡大、人材確保を支援します

高度モノづくり・環境分野

支援対象業種

▶ 13 業種

1. 繊維工業
2. 化学工業
3. プラスチック製品製造業
4. 窯業・土石製品製造業
5. 金属製品製造業
6. はん用機械器具製造業
7. 生産用機械器具製造業
8. 業務用機械器具製造業
9. 電子部品・デバイス・電子回路製造業
10. 電気機械器具製造業
11. 輸送用機械器具製造業

食料品分野

12. 食料品製造業
13. 飲料・たばこ・飼料製造業



▲センタースタッフ

## 産業・雇用創造推進センターの設置

産業・雇用創造推進センターでは、4名の職員で、受託事業の実施とプロジェクトの全体調整を行っています。



お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ内 産業・雇用創造推進センター

TEL: 077-511-1424 FAX: 077-511-1418 E-mail: sksc@shigaplaza.or.jp



# 滋賀ものづくり経営改善センター

Shiga Manufacturing Management Improvement Center

## 滋賀ものづくり経営改善センターが目指すもの

### 「ものづくり県」として発展してきた滋賀県。

多くの企業は固有技術を中心に企業経営を考えてきました。結果として固有技術はしっかりしているけれどお客様までの流れがスムーズでなく、結局儲かっていないという企業が多くあります。企業の持続的発展に向けては固有技術と「ものづくり技術」の両輪が必要です。

### 「ものづくり技術」とはお客様にむけて良い設計の 良い流れを作る技術です。

よって、「ものづくり技術」は製造業のみならず、サービス業、IT産業、農業も基本的にはすべて同じです。滋賀ものづくり経営改善センターでは「ものづくり技術」の核となる人材を育成し、「ものづくり組織能力」を高め、企業競争力を強化することにより、滋賀の企業群の底上げを図ってまいります。



北村 光明  
ものづくり経営改善センター長

### 滋賀ものづくり経営改善センターの ココが知りたい!



▲センタースタッフ

#### ▶ Q1.

具体的にどのような事業、支援になるのですか？

#### ▶ A1.

主な事業活動は人材育成支援をベースに以下2項目です。

- ① スクール事業「滋賀ものづくり経営改善インストラクター養成スクール」
- ② 経営改善インストラクター派遣事業



▲スクール風景

#### ▶ Q2.

コンサルタントとどうちがうのですか？

#### ▶ A2.

コンサルタント事業は基本的に契約目標の達成に向けて、コンサルタント自身が活動の中心となって派遣先企業の経営資源を使いながら活動を展開していきます。

一方、滋賀ものづくり経営改善センターの事業は人づくりが基本であり、「ものづくり技術」の核となる人材育成の支援を行っていきます。よって、改善の主役は派遣先企業の人材であり、目標そのものも派遣先企業の経営目標となります。したがって、目標達成には長期を要することもあります。



活用事例 1

～今年度の改善事例です！～

活用事例 2

立命館大学 OIC 食堂改善事例



現状

- ・ピーク時の待ち時間 10 分以上
- ・喫食場所待ち利用者あり

目標

- ・ピーク時食事入手待ち時間 3 分以内
- ・ピーク時喫食席待ち時間なし



成果

- ・ピーク時食事入手待ち時間 5 分以内達成
- ・喫茶場所についてはモラル改善中



E 社改善事例



現状

- ・品質問題における取組の改善が必要
- ・生産過程の見える化が必要

目標

- ・ワークショップにて改善提案の  
実行評価
- ・ものと情報の流れ図を作成する



成果

- ・品質向上に向けた改善ポイントの認識
- ・ものと情報の流れ図を作成し見える化を図った

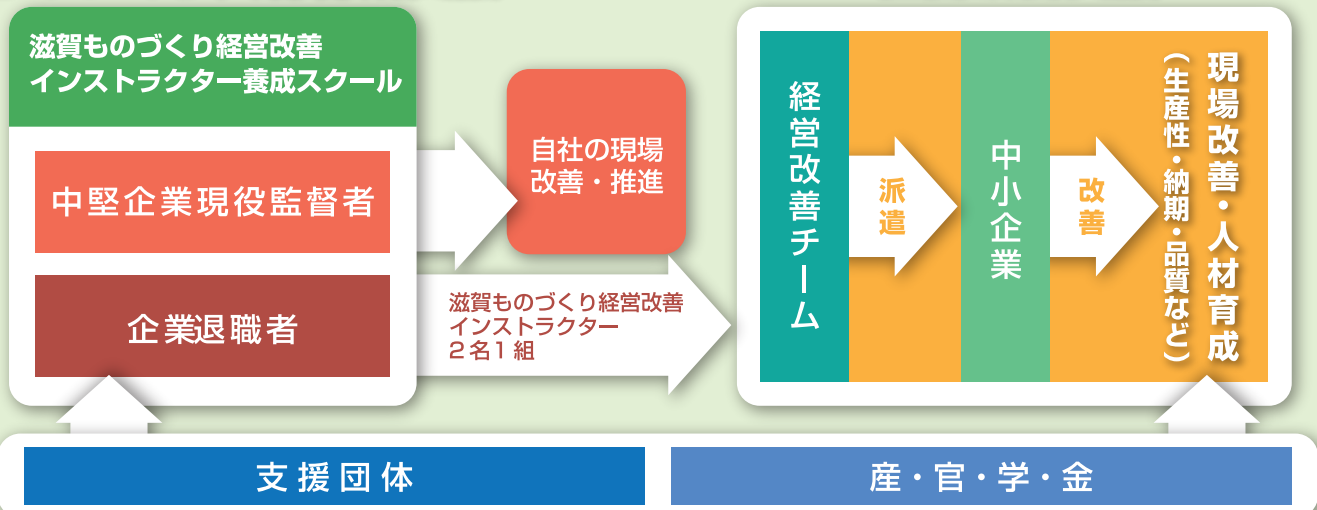


ものづくり経営改善センターミッション

『ものづくりの組織能力を強化・推進』する産業人材育成を支援し、中小企業の経営基盤強化・安定を図ることにより、地域社会全体の付加価値向上(地域創生)と雇用拡大を目指します。

ものづくり人材育成支援

経営改善支援



スクール終了後、改善派遣後も継続して支援します！

お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ内 滋賀ものづくり経営改善センター

TEL : 077-511-1423 FAX : 077-511-1429 E-mail : mmic@shigaplaza.or.jp

# 滋賀県よろず支援拠点

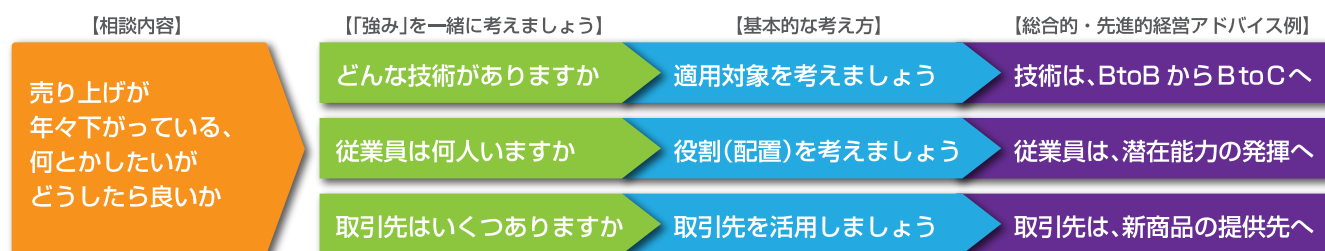


滋賀県のよろず支援拠点は、地域の支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者の起業から安定までの各段階のニーズに応じて、相談者に寄り添った対応を行っています。

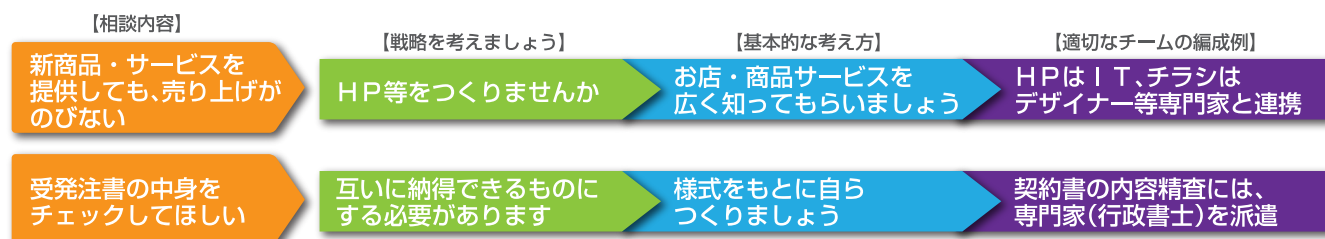


## 1 滋賀県よろず支援拠点の取組み

### (1) 既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」



### (2) 事業者の相談に応じた「適切なチームの編成」



### (3) 案件に応じた「的確な支援機関等の紹介」



## 2 小規模事業者(商店街、商工組合・団体等)向け売上げ向上を図る事業計画書づくりの推進

事業を成功へ導くには計画的取組みは不可欠です。しかし、小規模事業者にとっては事業計画づくりはハードルの高いもの。そこで誰でもできる事業計画づくりとして、「売上に直結するチラシ等づくり(ワークショップ等)」を提案し、販売促進活動の支援を行っています。

内 容	チラシ等作成の項目	事業計画の項目	備 考
商品内容(仕様)	●	●	商品の説明
特 徴	●	●	PR ポイント
ターゲット(売先)	●	●	ターゲットでデザインが変わる
価 格	●	●	収支計画に基づく価格決定

**お問合せ先 (公財) 滋賀県産業支援プラザ内 滋賀県よろず支援拠点** 担当 / 北村  
 TEL : 077-511-1425 FAX : 077-511-1418 E-mail : yorozu@shigaplaza.or.jp

2015年秋  
滋賀初!

# 創業を目指す方に心強い味方「創業応援隊」 10名のインキュベーション・マネジャー誕生!

「インキュベーション・マネジャー※(IM) 養成研修」を約5ヶ月間受講した10名が、2日間にわたり、コラボしが21(3階 中会議室)で、活動成果報告を行いました。

※インキュベーション・マネジャーとは、創業者を支援し事業化までを導く専門家。

創業は経済の新陳代謝を促し活性化につながることから施策として取り組んでいます。

しかしながら、次のような課題があります。滋賀県の開業率(1.8%)は全国平均(1.9%)を下回っています。(H24 経済センサス)。また中小企業白書 2014 によると、創業を決意し、実際に創業し、事業を継続・成長させるまでに様々な課題に直面します。創業に際して「相談相手がいない」(43%)の割合が多く、創業に関する相談をすることについて抵抗を感じるのかについて、

約3割が抵抗を感じると回答しています。

理由は「創業者、経営者としての能力や素養を否定されることへの不安」「相談しても満足いく答えを得られないと思っているから」とする割合が高いという結果でした。

課題を解決するために、身近な創業応援隊を育成する事業として、商工会等の指導員やインキュベーション施設の運営者を対象にインキュベーション・マネジャーを10名育成しました。



▶創業応援隊(10名)誕生



▶約5か月間の支援についてディスカッション

## 地域の創業応援隊事業

### 1 地域の創業応援隊育成事業

創業を目指す人の発掘から成長までを支援する人材であるインキュベーション・マネジャーを養成し、地域の新たな産業と経済の活性化を図る事を目的としています。

#### IM 養成研修の実施

3日間

4か月間

2日間

#### 【研修内容】

1. 前期スクーリング
2. OJT 研修
  - ▶創業者対応実習
  - ▶創業セミナー研修
  - ▶県内インキュベーション施設研修
3. 後期スクーリング
4. 修了論文、活動計画書の作成

前期スクーリング  
(集合研修)

創業者対応実習

インストラクター

創業セミナー研修

県内インキュベーション  
施設研修

後期スクーリング  
(集合研修)

創業応援隊として  
県内各地で支援活動

### 2 地域の創業応援隊の情報発信

既存のIMおよび上記IM養成研修生の修了生等を紹介する冊子を作成し、今後創業を考えている方に届くよう、各関係機関に配布します。ホームページへも掲載します。

**お問合せ先** (公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援グループ 担当/船越

TEL: 077-511-1412 FAX: 077-511-1418

創業応援隊の修了の様子はブログをご覧ください。 <http://bcafe.shiga-saku.net/e1211128.html>

頑張る企業を  
応援します！

- 経営課題に対応した相談や専門家を派遣します。
- 販路の開拓やマッチングを支援します
- 産学官金の連携をコーディネートします。
- 起業・創業のお手伝いをします。
- 地域資源を活かした新事業に助成します。
- 企業の情報化を支援します。
- 企業の人材育成を支援します。



専門家派遣



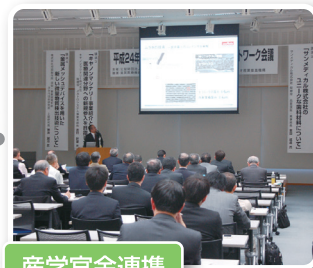
出張相談会



交流会



展示ギャラリー



産学官金連携



ビジネスカフェ



セミナー



研究会活動



公益財団法人  
**滋賀県産業支援プラザ**

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号コラボしが21 2階  
TEL 077-511-1410 (代表)  
FAX 077-511-1418  
E-mail info@shigaplaza.or.jp  
URL http://www.shigaplaza.or.jp/

■ JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分  
■ 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分(JR 膳所駅/JR 石山駅乗り換え)



【編集後記】 滋賀県は、製造業などの「ものづくり」産業が強いというイメージがありますが、商業などの総生産に占める第三次産業の割合は、年々増加傾向になっています。「環境」をはじめ「観光」「健康福祉」「バイオ」「IT」など県が産業の成長力の強化に努めている分野の他、第二次産業と関連して、企業の後押しやフォローをするベンチャービジネスの出現や企業イメージアップを図るクリエイティブ産業なども今後期待されます。情報誌「うちのこづち」では、滋賀県産業支援プラザが第二次産業だけでなく、商業・サービス業などの第三次産業、ベンチャー企業などの新産業にも積極的に支援していることをお知らせしています。この「うちのこづち」がきっかけで、多くの企業様とのお縁ができればと願っています。